



未来通信

サントリー

25

チャレンジ

未来が変わる。日本が変わる。

感謝

2013.7. 夏号 vol.16

<http://www.sankobussan.co.jp>

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊



インターンシップ

関西第二営業所 所長 平岩 健三

前回に引き続き、平成25年度インターン・シッ プの受け入れを担当させて頂 きました。7月10日より3日間、大阪府立今宮工科高等学校の 機械系男子学生2名です。 共に高校卒業後に就職を希望 し、意欲的に参加されました。 当社の主力商品の勉強会・保 税倉庫の見学・商品出荷体験・ 茶道体験・セパレータ工場製 作体験等、短い間でしたが、さ まざまな仕事・作法など学ん で頂きました。学生さんとの話の中で、しっ かりとした考え方を持っている と実感しました。来年には 就職活動に入ります。この3日間の体験を生かし て、この難局を突破して貰い たいと思います。

淀川掃除に学ぶ

代表取締役 会長
細川 三郎



淀川をきれいにとの思いで、参加して早 や六年が過ぎました。大阪は『水の都』と申しますが、ここ十年 も手を加えず、放置しておけば、大阪湾には魚が住めなくなるとのことで、六年前 から始めた社会貢献です。私は経理部長と一緒に参加していますが、夏の暑い時、冬の寒い時、河川ですから大 変ですが、仲間が迎えてくれ、そして楽しい話に花が咲くのです。この楽しみは、人間関係が皆、素直な心の 持ち主で、話題も多く楽しみも倍増です。参加者全員に、おにぎり、デザート、サー ビスがあります。また、お菓子のお土産付 きです。恵みに感謝です。今年から、年間皆勤された方は、国土交 通省から表彰を受けました。私は、経理部長と一緒に頂きました。今の 健康あつてのことと、感謝しています。

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

経営理念

私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。



私の月に一度の体験



私は現在、「傾聴マネジメント学科」と言う研修を受講しています。簡単に言えば、人の話を本気で聴く事の大切さを学ぶ研修です。立場上、人にアドバイスをし、指示を出す事が多く、人の話を聴く事が少ない我が身には、またとない良い機会であり楽しくその日を迎えています。私より若い同期の研修仲間達からも様々な意見やアドバイスをもらえる時の興奮は、私の事を親身になって考えてくれている事の現れと考ええると更に増大します。しかし、徳が備わっていない我が身には、身内からの言葉には過剰に反応し、血の繋がっていない方々からの言葉には素直になるという側面があると、身を持って体験しました。遠くの親戚より近くの他人と先人が良い言葉を残してくれています。本来は身内の意見を素直に聴き、自身の近くにいる方々と縁を結び実を成すよう努力しなさいと言う意味ではないかと考える様になりました。身内は自身の過ちを同じく踏まないように、意見を言ってくれているからこそ煩わしい事でも嫌われ者をしてくれていると考えます。朝令暮改ならぬ朝令昼改のスピード感溢れるこの時代に、先人の失敗が財産となっているか、否かはこの傾聴の姿勢に由るものがあると私なりに感じています。

しかし、聴き過ぎも決して良くはありません。傾聴は人の話を聴き、納得した上で意見やアドバイスを飾り掛けて自分なりに結論を出すシンプルな意思決定動作のプロセスと考え、沢山の意見を今後も聴き続け私の周りの人々を幸せに出来るように、私なりに徳を磨いていきたいと考えています。ぜひ皆様、人の話を耳と目と心で聴く傾聴を実践し、自分を幸せに、家族を幸せにして行きましょう。

そして何をしたらではなく、何の為にしたらかを傾聴から読み取り、一度しかない人生を悔いがないようにしてみましょ。

病(脳梗塞)を乗り越えて！
関西営業所
近藤 義之



平成23年5月27日、私は中部営業所勤務時に突然、足腰に力が入らず立てなくなると言う症状に見舞われました。その一週間前、仕事で車に乗っていると、後ろから10t車に追突される事故に遭っていたので、その後遺症と思い、自分でもあまり深刻には考えず、病院も明日行けば良いと軽い考えが、発見を遅らせる事になりました。しかし、深夜に周りの物の整理していると、右半身に力が入らず、自力では立ってない状態となり、自分ではどうする事も出来ませんでした。会社の同僚と一緒に住んでいたのも、直ぐに病院に搬送してもらえた事が自分にとって幸運でした。

ただ、病院に着き直ぐに精密検査をしたところ、左脳に脳梗塞が発症していることが判明し、即集中治療室へ、そのまま緊急入院となり、数日後には右半身が全く動かず、ベッドの上で寝たきりの状態が続きました。それから数週間後にリハビリ病院に転院となり、本格的なリハビリがはじまりました。毎日リハビリ指導を受け、その後は自主トレを朝から晩までして関節が固まらない様に寝る以外は常に体を動かす様に訓練していました。その甲斐もあり、今は装具・杖を使用の場合、自力で歩ける様になりました。現在は、右半身に麻痺が残っているものの、会社の御厚意により、社会復帰も果たせ、まだ手の動きや足の動きは不自由ですが、皆さんに助けってもらっている事を感謝しながら、リハビリを続け一刻でも早く元の体に戻れること信じて、諦めず懸命にリハビリをしています。それと、この病気で気付いた事があります、やはり健全な時には見えない事が沢山あるなと思うことです。人の優しさや労りが良く解り、自分が健全な時はどうだったか？と考えさせられました。今後は自己中心的な考えを持たず、人間らしく生きる様に精進していきます。

編集後記
本社総務部



暑中お見舞い申し上げます。いつもいつも弊社を支えて下さっているお取引先様へ心より感謝申し上げます。今月号も沢山の記事を掲載させていただきますので、是非ご一読下さいませ。暑い日が続いておりますが、体調管理を万全に、この夏を乗り越え充実した一年をお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

先祖を訪ねる
中部営業所課長
和木 健二



連休を利用し、両親と共に徳島へ行ってきました。目的は、祖先のお墓参りと親類方への訪問でした。祖父方の菩提寺である霊山寺を参詣。先祖の墓参りをし、親類方を訪ねました。先方とはなかなかお会いできていなかったたので良い機会となりました。祖母方でも同様に親類の方々とお会いすることができました。話を伺っていると改めて祖父母を偲ぶ事ができ、また両親と話をする時間もとれたことが良かったです。